

特定非営利活動法人 移動支援 Rera
2015 年度 事業計画書

2015 年度事業活動方針

東日本大震災発災から 4 年が経過し、被災地は 5 年目という「集中復興期間」の最後の 1 年を迎えることとなる。国の方針として被災地との関わり方に区切りがつけられることに合わせて、外部からの支援や助成金などもこの一年で急速に撤退を始めることが懸念されている。

だが同時に、NPO 等による移動支援に関係したさまざまな法制度にも改正の動きがみられ、行政との「協働」の体制を構築しやすい土壌が生まれつつある。これまで数度にわたり政府への政策提言を行う機会にも恵まれた。こういった流れは、行政と共に事業に取り組み持続的な活動形態を築くための“追い風”といえる。

また、現在申請中の認定 NPO 法人も、年度の初期には取得できる見込みとなっている。

2015 年度は、これらの“追い風”を最大限に活用し、行政や他団体との協働、連携に力を注ぐこと等により「集中復興期間」終了という“逆風”に備え、今後の被災地域での安定的な団体維持・活動継続を目指し努力する。

一方で、外出手段がなく困難な状況にある住民からの依頼は 4 年目まで増加の一途をたどり、当団体による送迎のニーズはすでに受けきれないほどになっている。こうした人々の生活を支える“足”を、今年度も安定して維持することに全力を傾けると同時に、当団体の送迎以外の手段や送迎の適正化への協議を引き続き進める。

送迎という直接支援とは別の、住民の移動手段確保のための活動にも、引き続き積極的に取り組む。公共交通機関の路線案内を行うことによって移動困難者が自分で公共交通機関を利用する手助けをする、福祉送迎の講習会を開催し、地域住民の互助送迎を促進する、等の計画を実行する。

移動支援 Rera の目指す社会

『移動手段を持たず外出できない住民が、送迎支援や助け合い、公共交通など、それぞれに適した方法で外出手段を得ることにより、心身の健康維持や生きがいづくりなどにつながり、健全で心豊かな生活を送ることができる社会』

2015 年度事業内容

1. 【事業名】移動困難な住民の送迎事業

【内容】

- ・ これまで通りの、送迎実費利用者負担の「無償送迎」を行いつつ、「福祉有償運送」に向けての具体的協議を行う。
- ・ 「無償送迎」の基本システムはこれまでと大筋変わらず。送迎に係る実費分としての協力費は、ガソリン代の推移を見つつ、2km ごとに 100 円を目安に考える。
- ・ 「もしも」の不測の事態への備えに力を入れる。(万が一の事故対応やトラブルの予防・対策のために弁護士等と相談する、ヒヤリハット事例を学習する機会を作る等)
- ・ 安全を第一に活動する。そのためのスタッフのスキルアップ自主勉強会を、祝日の日中等を利用して積極的に行う。
- ・ 次年度の福祉有償運送への移行を目安として、準備を同時進行で行う。
- ・ 福祉有償運送の金額設定では生活が圧迫され利用できなくなる人々のために、無償の範囲内での送迎形態も必要に応じて継続する。

【スケジュール】

送迎活動：2015 年 4 月～2016 年 3 月(通年) 日曜・元日除く全日。

ただし医療機関の休日と合わせて一般送迎休日あり。

自主勉強会：2015 年 4 月、7 月、9 月、10 月、11 月、12 月、2016 年 1 月、3 月
(年 8 回)

2. 【事業名】福祉有償運送事業

【内容】

- ・ 2016 年度運用開始を目安として、石巻市や関係機関との協議を進める。
- ・ 2015 年度より改正される交通政策基本法や自家用有償運送の利用者範囲拡大を活用し、従来の概念から一歩進んだ送迎対象者を取り入れ、障害認定等によらず現場の状況を最優先とした「移動困難者」の送迎を行う“先行事例”を築く。
- ・ 石巻市のほか、タクシー協会石巻支部、石巻移動支援ネットワーク等との連携を取りながら、石巻地域での福祉有償運送の位置づけを明確にし、運行・料金体系等を設定する。
- ・ 設定した金額での利用が困難な住民のために、割引や金額補助等の仕組みを作る。

- ・ 必要な資格、技術、知識等を年間通して学習し身につける。

【スケジュール】

打ち合わせ、準備：2015 年 6 月～12 月

運営協議会：1 月

3. 【事業名】福祉車両運転講習会

【内容】

- ・ 地域住民および地域の介助技術者の送迎技術向上と地域での助け合い送迎促進のため、福祉車両の操作方法、運転技術、介助等の講習会を開催する。
- ・ 講師は、全国で講習を開催している移送サービス団体をお願いし、Rera スタッフが補助を務める。
- ・ 自団体でも講師として教室を開催できるよう、運輸局へ届け出を出すとともに、スタッフの講師としての研修（他地域での講習会のサブスタッフとして参加する等）を行う。

【スケジュール】

運輸局届出：2015 年 8 月

スタッフ実習：2015 年 9 月、2 月（予定）

講習会開催：2015 年 7 月、12 月

※2 か月前より講師、会場手配、ちらし作成、広報開始

4. 【事業名】バス停・ルート検索ウェブサイト作成

【内容】

- ・ 2013 年度より作成中の検索サイトのデザインや機能の更新を行う。現状としては位置情報や路線のずれがまだあるため、順次修正していく。目処が立ったところで完成版として広く公開、広報を行う。移動支援 Rera 公式 HP へのリンクを貼る。
- ・ 引き続き、青森県八戸市の青い森ウェブ工房に委託し、作成と情報更新をお願いする。
- ・ Rera でも担当スタッフを定め、円滑な更新を行う。

【スケジュール】

ウェブページ広報：2015 年 7 月～（修正しながら）

デザイン改良、情報更新：2015 年 4 月から 2016 年 3 月まで随時

5. 【事業名】連携団体による情報共有システム構築

【内容】

- ・ 移動困難者が同時に抱えることの多い様々な要素（経済的困窮、障害や介護、家族問題等）に携わる関係機関（市の窓口、社協、地域包括、福祉事業所、民生委員等）との連絡、連携のためのネットワークを作り、相互に情報交換・共有を行う。
- ・ 団体間の役割、相談できる内容、連絡先、担当地域や対象者等についての情報を整理し、共有する。「縦割り」になりやすいそれぞれの支援内容だが、「移動」という共通テーマによって横断的に取りまとめる。
- ・ 年 4 回程度、関連団体を訪問し、情報交換を行う。

【スケジュール】

医療・福祉系機関訪問：2015 年 6 月、8 月、10 月、2016 年 1 月（予定）

連絡網作成：2015 年 4 月から随時更新。

6. 【事業名】外部協力者と連携した団体組織基盤強化

【内容】

- ・ 団体の活動への理解ある協力者（NPO 運営や移送サービス、ファシリテーションなどの専門家）と連携し、今後団体運営を安定して行うために必要な基盤強化に取り組む。
- ・ 協力者と一緒に取り組む組織課題

1.事務局の強化

事務局業務の属人化している部分を減らし、「仕組み化」する。

運営全般の効率化、整理、改善。

2.メンバー間の意思共有

組織としての使命や行動指針を共有し、「内部ルール」を撤廃する。

組織の中の自分の役割や立場を自覚する。

3.新しい活動形態の構築

福祉有償運送制度、介護予防制度等を活用し、制度を利用した新たな送迎を構築する。

【スケジュール】

事前打ち合わせの上、8～9 名の協力者にそれぞれ年数回（数日）ずつ石巻に入ってもらい、運営に関する相談、ワークショップ、研修等を行う。